



(1)	$\frac{2}{5}$	(2)	$\frac{4}{5}$	(3)	150	(4)	39	(5)	18
(6)	200	(7)	3	(8)	159	(9)	20.52		

(1)	(2)	(3)
(求め方) 容積は $20 \times 25 \times 15 + 15 \times 20 \times 15$ $= 12000 \text{ cm}^3$ $12000 \div 240 = 50 \text{ cm}^3$ 答. 50 cm^3	(求め方) $20 \times 25 \times 15 \div 50 = 150 \text{ 秒後}$ $= 2 \text{ 分 } 30 \text{ 秒後}$ 底面積が $\frac{3}{5}$ に変わるので、水面の 上がる高さを同じにするために $50 \times \frac{3}{5} = 30 \text{ cm}^3$ 答. 2 分 30 秒後, 30 cm^3	(求め方) 水の高さが 15 cm になるまでに、 $7 \text{ 分 } 30 \text{ 秒} \div 2 = 3 \text{ 分 } 45 \text{ 秒}$ かかるから、 $20 \times 25 \times 15 \div 225$ $= \frac{20 \times 25 \times 15}{225} = \frac{100}{3} = 33 \frac{1}{3}$ 答. $33 \frac{1}{3} \text{ cm}^3$

(1)	X 毎秒 9 cm	Y 毎秒 6 cm
(2)	(求め方) 1 回目 X と Y が出会ってから、X、Y 合わせて 合計 $270 \times 2 = 540 \text{ cm}$ 進んだときだから、 $540 \div (9 + 6) = 36 \text{ 秒}$ $25 + 21 + 36 = 82 \text{ 秒後}$ 答. 82 秒後	(求め方) X が進んだとき Y と Y が進んだとき Y の差が $270 \times 2 = 540 \text{ m}$ となるときだから、 $(540 - 9 \times 25) \div (9 - 6) + 25 = 130 \text{ 秒後}$ このとき、X は合計 $9 \times 130 = 1170 \text{ cm}$ 進んでいるので $1170 \div 270 = 4 \dots 90$ あり、 A から 90 cm の場所である。 答. 130 秒後, 90 cm

4		
(1)	B 列 6 組 1 番目	
(2)	(求め方) 1組では各数の差は1, 2組では各数の差は2, ... となるから、 $1 \times 1 + 2 \times 2 + 3 \times 3 + 4 \times 4 = 30$ $(50 - 30) \div 5 = 4$ ゆえに 5組4番目 までと分かる。 答. x: 5 y: 4	
(3)	(求め方) 10組10番目の数は、A列は100, B列は110である。 10組までのA列とB列の数の和の差は、 $1 \times 1 + 2 \times 2 + 3 \times 3 + 4 \times 4 + 5 \times 5 + 6 \times 6 + 7 \times 7 + 8 \times 8 + 9 \times 9 + 10 \times 10 = 385$ また、1から110までの和は $(1 + 110) \times 110 \div 2 = 6105$ よって、B列のみの和は、$(6105 + 385) \div 2 = 3245$ B列の10組9番目までの和は、$3245 - 110 = 3135$ 答. 3135	